



# 知床科学委員会 しんぶん

## 適正利用・エコツーリズム

### 検討会議 No.5



「知床で今何が起きているの!?!」 「どんな調査が行われているの!?!」 など、タイムリーな情報をお伝えします。

#### Q 適正利用・エコツーリズム検討会議って？

エコツーリズム戦略に基づく提案の場です。 **A**



適正利用・エコツーリズム検討会議(略して「エコツー会議」)は、地元で観光、環境保全にかかわる人や行政機関、そして専門家が参加し、知床半島の自然環境を有効活用しながら保全することを一緒に話し合う場です。

#### 必見! TOPIC

### 「エコツー会議」で提案され実現した事業や計画

エコツー会議では地域の皆さんや行政からの提案等について、様々な検討を行っています。

#### 部会での提案



#### 厳冬期の知床五湖エコツアー事業(知床斜里町観光協会ほか)

冬季の知床の魅力を伝えるエコツアーを計画し、平成 26 年度から実施しています。

#### 赤岩地区昆布ツアー事業(知床羅臼町観光協会ほか)

平成 26 年度からモニターツアーとして知床での昔の昆布漁について学ぶ機会を設けています。

#### ヒグマ餌やり禁止キャンペーン(知床斜里町観光協会ほか)

平成 25 年度からヒグマ餌やりの禁止について、広報活動を行っています。

#### 「先端部地区利用の心得」(環境省ほか)

知床岬の先端部地区利用の心得について、最新の情報をもとに見直しをしています。

#### 「外国人旅行者向け情報発信の強化」部会(知床財団ほか)

増え続ける外国からのお客様へ知床の魅力をどのように伝えるか検討を始めた。

#### 地域独自での実施



#### 知床五湖周辺の早朝利用(知床斜里町観光協会)

普段、立ち入れない早朝の知床五湖の魅力の体験を事業化しています。

#### スカイバスツアー(知床斜里町観光協会)

屋根のないスカイバスで知床の大自然を味わうツアーです。

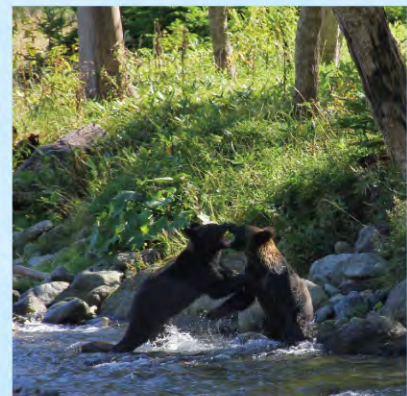
#### 北海道庁からの提案



#### 北海道知床世界自然遺産条例(北海道)

平成 28 年 4 月施行の条例に地域の皆さんのご意見を数多く反映させました。

エコツー会議の主人公は、「地域のみなさん」です。地域からアイデアを出し、関係者で話し合い、カタチにするしくみが「知床エコツーリズム戦略」です。斜里町・羅臼町のさまざまな団体の意見が、行政等の提案に反映されています。



ケース 1

## 北海道知床世界自然遺産条例 ～国内初の世界自然遺産条例～

知床が世界自然遺産に登録されて10周年を契機に、知床の価値を改めて見つめ直し、この貴重な財産をより良い形で将来の世代に引き継いでいくため、知床世界自然遺産の保全と適正な利用に関する基本理念、道の責務、道民・来訪者等の役割、基本的な施策等を定めるものです。  
エコツアー会議では、条例の案に対して様々な意見を示し、数多くの意見が条例に反映されました。

### 条例の概要

#### ①基本理念 ～みんなで共有すべき考え～

- ・知床の顕著で普遍的価値に対する道民や来訪者の理解の増進が図られること
- ・自然環境を保全しながら、エコツーリズムが推進されること
- ・知床が他地域の模範となるよう、先進的な取り組みの推進が図られること など

#### ②道の責務

- ・道は国や地元の市町村、道民や事業者の皆さんとともに、知床世界自然遺産の保全や適正な利用に関する施策を推進します

#### ③道民や来訪者(旅行者など)の役割

- ・知床世界自然遺産について理解を深めます
- ・知床世界自然遺産の自然環境の保全に影響を及ぼさないよう十分配慮します

#### ④事業者の役割

- ・知床世界自然遺産やその近隣では、自然環境に配慮して、事業活動を行います

#### ⑤関係団体の役割

- ・知床世界自然遺産の保全や適正な利用に関する取組を推進します



### エコツアー会議から示され 条例に反映された主な意見

遺産地域の隣接地に  
についても遺産地域と一体  
として保全すること

適正な利用が図られるよう  
基本理念にエコツーリズムの  
推進を追加すること

道の責務について明確に  
規定すること など

### ◆ 世界自然遺産・知床の日 ◆

**1月/30日** 知床の価値について、  
改めて考える日

遺産登録年(平成17年)の知床における流水接岸初日の1月30日を「知床の日」としました。

ケース 2



平成16年度策定の「知床国立公園知床半島先端部地区利用適正化基本計画」に基づき、知床半島先端部の利用ルールである「先端部利用の心得」は作成されました。

基本計画が策定されてから10年以上経過したこと、平成24年度には知床エコツーリズム戦略が策定されたことなどから、知床エコツーリズム戦略に定める3つの価値と基本原則に沿って、先端部利用の心得について総合的な点検を行うこととなりました。\*点検は平成28年度末までに実施します。

### 守るべき知床の3つの価値



ケース 3

### 外国人旅行者向け 情報発信の強化

知床が世界自然遺産に登録されてから、外国人旅行者が年々増加しています。

しかし、外国人旅行者はルールを知らなかったためにヒグマへの接近が危険だという認識がなかったり、禁止されている野生動物への餌やりをするという問題があります。

そのため、今後地域の関係者で話し合いを進め、魅力とルールを併せて発信することで、知床の価値や楽しみ方を知ってもらえるよう、外国人旅行者向けの情報発信の強化方法を検討していきます。

■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所 〒085-8639 北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎4階 TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

■発行：環境省

■制作：株式会社 エイト日本技術開発

■発行日：2016年〇月